



2017年

1月 赤ちゃん広場

開催レポート



1月のあかちゃん広場は27組（初めての参加8組）で大賑わいでした(*∇*)
 今回は、太子道診療所の健診サポートセンターより松崎さんに講師で来ていただき、乳がん検診や子宮がん検診の必要性についてお話していただきました。つついこども優先で、自分のことは後回しになってしまうお母さん達に、自分の身体について考えるいい機会になったのではないのでしょうか。

日本では、およそ16人に1人の割合で乳がんが発症し、40代後半の若い世代に発症のピークがあることが大きな特徴です。自己検診で見つけることができます。しかし「しこり」として触れることのできない小さながんの多くはマンモグラフィや乳腺エコーで見つけることができます。小さなうちに発見し、適切な治療を行えば、90%以上が治る病気です。子宮頸がんは20~30代の若い女性に急速に増えています。20代でがん検診！？と思われる方も多いと思いますが、この世代のがんによる死亡の1位は子宮頸がんです。早期治療ができなかった場合、がんで命を失わないにしても妊娠・出産というかけがえのない可能性を奪ってしまうことさえあります。子宮頸がんはヒトパピロームウイルス（HPV）の感染が原因であることもわかり予防ワクチンもあります。発がん性HPVに感染してから子宮頸がんになるまでには数年かかるといわれ、毎年の検診受診でがんに移行する前に対処することもできるようになりました。一方40歳~50歳以降の方は子宮体がんや卵巣がんも増えてきます。婦人科検診はお母さんと娘さん、一緒に受けましょう♥



一番小さいグループ♥
 助産師がお母さんの悩みにアドバイス(*∇*)

月齢ごとにグループに分かれお話中！

お母さんの感想

同じ月齢の赤ちゃんの様子を見ることができてよかった

心配だったことを先生に聞くことができた♥



毎回楽しいバ(@^ー^@)ノ



2月のあかちゃん広場は、ほっこりスタッフさんの手遊びと、のんびりお話をさせていただく予定にしています。お楽しみに(^O^)

